



宮城県業務説明会 農業

Miyagi
Prefectural
Government

農業職の仕事

- ・ 行政事務：農業関連事業の企画・推進、農業関連予算管理など
- ・ 技術支援：農作物の栽培技術指導、農業経営改善支援、新規就農者のサポートなど

配属先

- ・ 本庁各課
- ・ 地方機関（試験研究機関、農業改良普及センターなど）

自己紹介 山形県出身

H29.3月 岩手大学卒業

H29.4月～ 農林水産部 農産園芸環境課 環境対策班

農産物の放射性物質検査、鳥獣被害防止対策など

H31.4月～ 農政部 農山漁村なりわい課 中山間振興班

中山間地域の振興農地耕作条件改善、鳥獣被害防止対策など

R2.4月～ 農業・園芸総合研究所 野菜部 露地野菜チーム

露地野菜の栽培技術に関する研究

R5.4月～ 農林水産省 大臣官房 政策課
技術政策室 技術調査班

農業用ドローン、AIの活用推進業務、研究開発の審査など

R7.4月～ 農政部 農業振興課 先進的経営体支援班

農業経営支援関連事業

志望動機

なぜ公務員だった？

地元の農業現場と密接に関わりながら、「儲かる農業」を支援できると感じたため

なんで宮城県庁を選んだ？

多様な農産物に恵まれた**地元・宮城県**で、地域農業に貢献したいと考えたため

- 「農業を支える仕事」ができる環境として、宮城県庁を選びました。

担当した仕事

農山漁村なりわい課 中山間振興班

鳥獣被害防止対策

- ◆ 事業の企画・運営
- ◆ 防護柵や捕獲用の罠に関する講習会の実施



農業・園芸総合研究所 露地野菜チーム

露地野菜に関する試験研究

- ◆ 栽培試験の実施（新品種や栽培方法の検証）
- ◆ 現地での技術指導・アドバイス



大変だったこと

- 未経験分野の業務への対応（毎日が勉強！）
- 経験豊富な生産者からの相談対応（信頼を得ることが大事！）
- 気候変動の影響で、計画どおりに進まない試験研究も

➤ どんなときも「現場と向き合う姿勢」が大切です。

やりがい、心掛けていること

伝える力を大切に
専門的な内容も、わかりやすく・簡潔に説明

オンとオフの切り替え
仕事に全力、オフはしっかりリフレッシュ

- 相手に伝わること、そして自分も長く働けることを意識しています。

1日のスケジュール

8:00 出勤

9:30 出張
普及センターへ

12:00 昼休み

13:00
引き続き打合せ

16:00 帰庁
訪問記録作成

16:45 退勤

働き方・休み方

- 平日の業務時間内は集中！
終業後は同僚や後輩と楽しく交流
- 土日はしっかりリフレッシュ！
友人や同僚と旅行や趣味の時間を楽しんでいます



➤ メリハリをつけた働き方で、公私ともに充実！

入庁前のイメージとギャップ

入庁前・・・

国や県の予算を活用した資金的な支援や、現場での技術指導が中心かな…？

働いてみると・・・

栽培支援にとどまらず、**食産業振興や技術開発など多様な業務**があり、幅広いスキルを身につけるチャンスが多い！

➤ 想像以上に“成長できる職場”でした。

職場の雰囲気

- 風通しがよく、困ったことは気軽に相談できる環境
- 担当業務が違ってても、班員や上司と助け合いながら進める雰囲気
- チームで働く喜びを感じられる、居心地のよい職場です

➤ 支え合いながら前に進む文化があります。

働いて感じる宮城県職員の魅力

- 行政事務だけでなく、技術支援・試験研究など多岐にわたる業務に携われる
- 県内外の最新技術に触れる機会があり、現地での視察・実地体験もできる

➤ 「現場」も「最先端」も両方経験できる仕事です！

みなさんへのメッセージ

ご清聴ありがとうございました。
みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

➤ 宮城の農業を、いっしょに盛り上げていきましょう！